

調査速報

メキシコ自動車市場月次統計（2017年3月）

宗教祭日の日取りの変化が3月増産の主因。米国新車市場の失速が、近くメキシコ自動車生産に大きな逆風となろう。

主任研究員

深尾 三四郎

045-225-2375

fukao@yokohama-ri.co.jp

要約

- 3月メキシコ自動車生産台数（季調値）は前月比6.3%増の年率388万台。原数値の前年比は36.2%増。
- キリスト教の移動祝日の影響で、前年同月の稼働日数が少なかったことが大幅増産の背景にある。
- 主要輸出先である米国新車市場は失速。近くメキシコ自動車輸出に大きな逆風が吹く見通し。

宗教祭日と米国市場失速により4月のメキシコ自動車生産は大きく落ち込むことが予想される

メキシコ自動車工業会（Asociación Mexicana de la Industria Automotriz）が発表した2017年3月の総生産台数は、前年同月比36.2%増と10か月連続で前年超えし、季節調整済年率換算値（当社試算、以下SAAR）も前月比6.3%増の388万台と増加した。3月の増産幅が大きかったため、SAARの3か月後方移動平均値でみたトレンドは上向いたが、宗教祭日の日取りの変化という特殊要因が背景にあり（後述）、メキシコ自動車生産の見通しを楽観することは禁物である（図表1）。

3月の大幅増産の背景には、メキシコ固有の祝日である *Semana Santa*（キリスト教のイースター（復活祭）までの1週間）の影響がある。太陰暦に従って決められるこの移動祝日は、2016年は3月21日～27日だったが、2017年は4月9日～4月15日の1週間となる。従って、昨年3月は稼働日数が少なかったため、その裏が出るかたちで、本年3月の国内販売及び輸出が大きく伸長したことに留意すべきである。来る4月の統計では、逆に国内販売・輸出は大幅に減少することとなる。3～4月の実績を均すことで足元の状況を掴む必要がある。

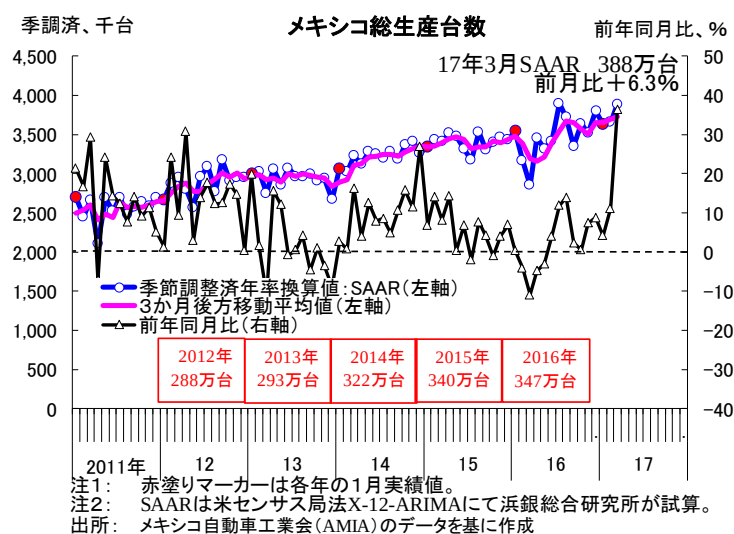
3月の総輸出台数も前年同月比32.7%増と大幅に増加し、輸出台数のSAARも前月比5.2%増の318万台と、16暦年実績の277万台を上回る水準にあり、特殊要因はあれど結果は堅調であった（図表2）。

しかし、主要輸出先の米国で足元の新車販売が失速していることから、近くメキシコの自動車輸出に大きな逆風が吹く可能性が高く、楽観は禁物である。米国の3月の新車販売台数（SAAR）は前月比8.2%減の1,615万台（弊社試算）と大幅に減少した（図表3）。

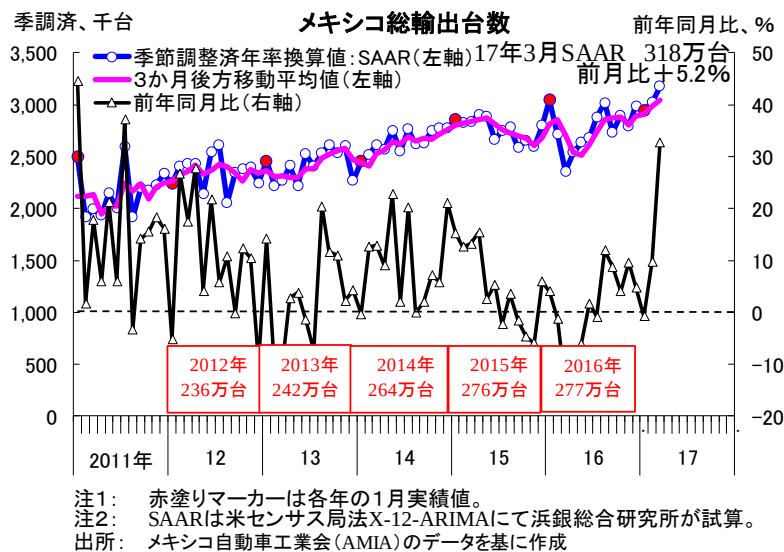
メキシコ国内販売の減速基調が続いている。メキシコの3月の総販売台数は前年同月比17.2%増と35か月連続で前年超えとなり、SAARも前月比4.6%増の161万台と増加した（図表4）。もともと、国内販売（SAAR）の3か月後方移動平均値でみると、減少トレンドは足元でも続いている。17年に入ってから、消費者信頼感指数が低水準にあり、消費マインドが急速に冷え込んでいることが内需の足かせになっていると考える（図表5）。

米国向け輸出減少のリスクに、内需減退が合わさる形で、メキシコ自動車生産に対する下方圧力は今後強まっていくと予想する。

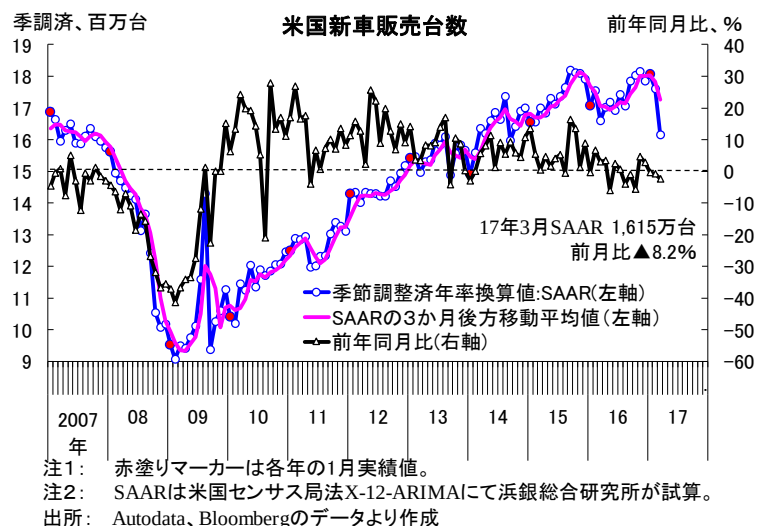
図表1 3月生産台数（SAAR）は増加



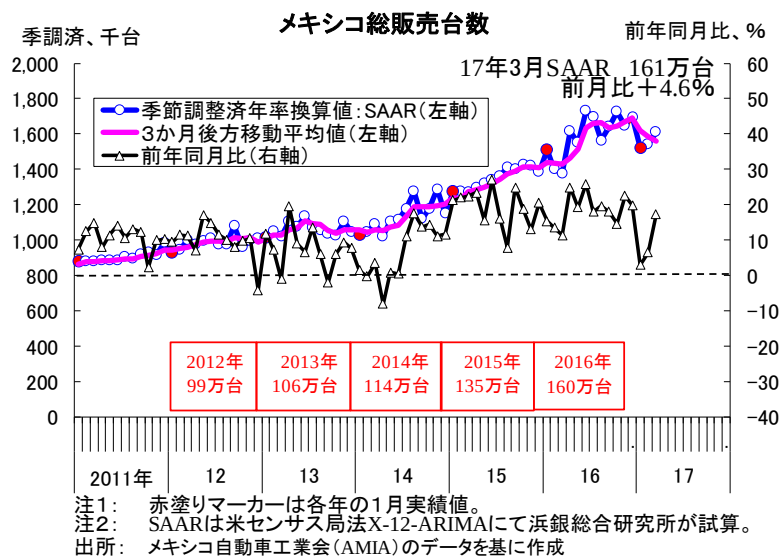
図表2 3月輸出台数 (SAAR) も増加



図表3 3月米国新車販売は大きく失速

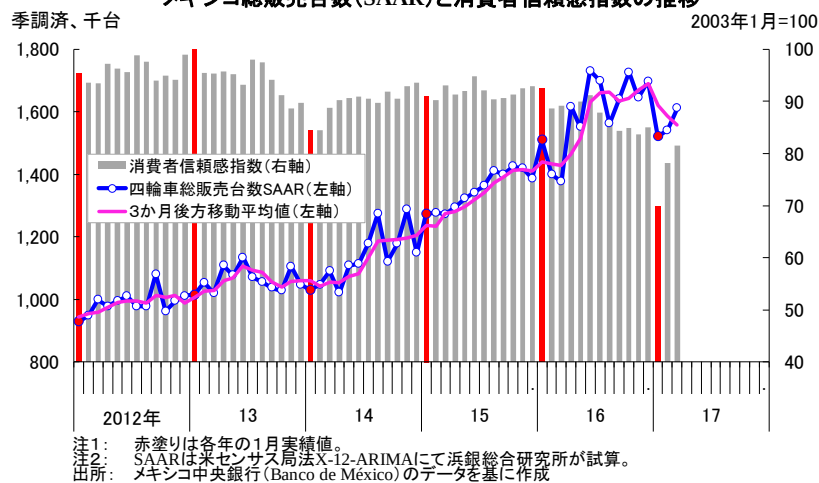


図表4 メキシコ国内販売の減少トレンドに変化なし



図表5 消費ムードの減退が内需の足かせに

メキシコ総販売台数(SAAR)と消費者信頼感指数の推移



本レポートの目的は情報の提供であり、売買の勧誘ではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。